

NTP サーバー設定一覧 (別表)

ファームウェアバージョン Ver.1.22.00 以上対応

	設定名	内容	選択肢、設定値 [デフォルト値]	備考
1	FIX IP ADDRESS	固定 IP アドレスを設定します。	[192.168.001.100]	保存情報のみの更新(DHCP 無効で、 次回リセット時有効)
2	FIX SUBNETMASK	固定サブネット・マスクのアドレスを設定します。	[255.255.255.000]	
3	FIX GATEWAY	固定ゲートウェイのアドレスを設定します。	[192.168.001.001]	
4	FIX DNS SERVER	固定 DNS サーバーのアドレスを設定します。	[192.168.001.255]	
5	DHCP USE/UNUSE	DHCP で IP アドレスを自動取得するかを切り替えます。	[ENABLE]: IP アドレスは自動取得する DISABLE: IP アドレスは固定する	保存情報のみの更新(次回リセット時有効)
6	BCAST ADDR.	時刻を配信する NTP アドレスを設定します。	[192.168.001.255]	
7	BCAST INTVL	NTP 時刻配信サーバーが時刻を配信する間隔(秒)を設定します。	[0] or 65535: 無効 1~65534: 有効 BCAST LED 点灯条件	保存情報更新及び即時反映
8	BCAST CAL RECV.	NTP 時刻配信サーバーからのブロードキャストデータにより時刻を補正するか設定します。	[ENABLE(NTP MODE)] 補正する ホーリング無効 DISABLE 補正しない ホーリングのみ	
9	TIME ZONE	世界のタイム・ゾーンの設定	[JST UTC+9:00]: 日本標準時 例:CCT UTC+8:00: 中国湾岸時間 例:UTC UTC+0:00: 世界標準時	
10	GPS NODATA TIMER	GPS から NMEA データが来ない場合、サーバーの時刻同期状態を保つ時間設定(秒)	[180] 0:判定無効 1~65535:時間経過後 TIME DATA RCVER エラー	
11	GPS UNSYNC TIMER	時刻データが無効になる等同期が保てなくなつてから、サーバーが時刻同期状態を保つ時間(秒)設定	[900] 0:判定無効 1~65535:時間経過後 UNSYNC TIMEUP エラー	
12	NMEA SENTENCE	GPS の NMEA データ中、時刻に採用するセンテンスを設定します。	[FURUNO],\$GPZDA: 古野電機モジュール UNIV.(\$GPRMC) : 汎用モジュール UNIV.(\$GPZDA) : 汎用モジュール	
13	1PPS EDGE	GPS からの 1PPS で時刻補正(0ms)するセンエッジを設定します。	[FALL EDGE] : 立下がりエッジ 古野製モジュール RISE EDGE : 立上りエッジ	
14	NTP RX TIMEOUT	NTPサーバーへのホーリング問い合わせ時、タイムアウト・エラーするまでの時間設定(m 秒)	[180]	
15	ADJUST WIDTH	NTT モードと JJY モードに於いて、許容するサーバー側と時刻源との時間差(秒)	[2000] これよりも多くずれている時刻は破棄し、突然時刻が大きく変動するのを防止する。	
16	QUIT TO MAIN	【 設定画面を抜けて通常画面へ戻る 】		10 秒待たず設定動作から強制離脱

別表-1

NTP サーバー通常液晶表示詳細



※1 について

・NTP モード

A: 参照先サーバーアラーム常態

I: うるう年予告(挿入)

D: うるう年予告(削除)

R: ブロードキャスト補正モード

数字: NTP サーバー参照位置(次回)

・GPS モード

G: 固定表示

・JJY モード

J: 固定表示

※2 について

1文字目 GPS 時刻採用センテンス

F: 古野(\$GPtps)

R: UNIV.\$GPRMC)

Z: UNIV.\$GPZDA)

2文字目 1PPS の採用エッジ

R: 立上リエッジ

F: 立下リエッジ

※3 について 時刻ステータス

A: NTP/JJY 正常

I: 受け取った時刻情報がおかしい

U: 補正されていない(初期状態)

T: NTP 受信タイムアウト

R: GPS RTC モード FURUNO

G: GPS GPS モード FURUNO

U: GPS UTC モード 共通

P: GPS PPS モード 共通

V: GPS 時刻データ無効 汎用モジュール

N: GPS 時刻入力なし/JJY RTR 入力なし